

施設概要

幸兵衛窯は、多治見市郊外の市之倉という地域にあり、他にも 50 以上の歴史的な窯がある。幸兵衛窯では、いくつかの建物が一般公開されているほか、陶芸教室や季節のイベントなども開催されている。

本館

この近代的な建物の 1 階には、インフォメーションデスクとショールームがある。2 階は 6 代目当主・加藤卓男（1917-2005）の作品を展示するギャラリーである。ペルシャ唐草模様のタイル壁画、ラスタ-彩、ペルシャブルーの陶器、1995 年に人間国宝に指定された三彩釉などの作品が展示されている。

古陶磁資料館

加藤卓男が収集した、歴史的な様式や釉薬を再現するための研究を行うための 9～13 世紀のペルシャ青磁、朝鮮半島の青磁、16 世紀の美濃焼の破片などの古陶磁を 3 階建てで展示している。建物は築 200 年以上の伝統的な民家様式で、元々福井にあったものを移築したものである。畳敷きの座敷からは薪を使った穴窯を眺めることができ、1 年のうち特定の日には、窯入れや窯出しの工程を座って見学することができる。また、建物の外のスペースに出ると、窯の古いレンガの煙突を見ることができる。

工芸館

5～8 代の当主の作品が展示されており、幸兵衛窯のスタイルの変遷を知ることができる。また、7 代目加藤幸兵衛（1945-）が詠んだ和歌も展示されている。